

「第 6 期恵庭市総合計画基本構想(案)」のパブリックコメントの意見募集結果及び意見に対する市の考え方について

1. 募集期間 令和 7 年 9 月 2 日(火)～10 月 3 日(金)

2. 意見総数

持参	郵送	ファクス	電子申請	電子メール	意見箱	合計
0	0	0	1	1	1	3

3. 寄せられた意見(抜粋)

寄せられたご意見に対する考え方を以下のとおり説明いたします。

また、寄せられたご意見については、個人を特定する箇所やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

番号	寄せられた意見の概要	ご意見に対する恵庭市の考え方
1	「平和の鐘」の活動は世界的に広まっています。 国連平和の鐘の活動ではニューヨーク国連本部、ドイツ、カナダなど各国には 288 の平和の鐘が設置され、戦争のない平和な世界を願っています。 日本では日本ユネスコ協会にて「平和の鐘を鳴らそう運動」を各地(恵庭市含む)で行っています。趣旨は「戦争と貧困のない社会を目指す」活動です。 恵庭市では市民団体の平和の鐘実行員会の主催で「平和の鐘をつきましょう」の活動を 2011 年より市内二か所のお寺の協力により毎年原爆投下の 8 月 6 日・9 日行っています。趣旨は「核兵器のない社会を目指そう」です。 全国各地で独自の活動を行い「戦争のない平和な世界」を願って毎年鐘を鳴らしています。例として「大阪万博記念公園」「広島平和記念公園」「比叡山延暦寺」「石垣市新栄公園」「稚内市宗谷岬平和公園」「尼崎元浜緑地公園」等々に平和の鐘が設置されています。 1. 花の拠点「はなふる」のガーデンエリアの一角に『平和の広場』として“平和の鐘”を設置	戦争や核兵器のない社会を願う活動は、国内外で広がりを見せており、恵庭市においても市民団体の皆さまによる継続的な取り組みが進められていることは承知しております。恵庭市としても平和の重要性を深く認識しており、戦争のない平和な世界の実現を願っております。 今回策定する総合計画基本構想は、市の将来像や施策の方向性を示すものであり、「平和の鐘」の設置や関連事業の展開について、具体的にご提案をいただきましたが、個別の事業や施設の設置等までを定めるものではありません。このため、ご提案の内容を直接盛り込むことはいたしません、ご意見として参考にさせていただきます。

	してはどうでしょうか。 2. ユネスコの「平和の鐘を鳴らそう」及び市民団体が実行委員会の「平和の鐘をつきましょう」などの毎年実地している行事には多くの市民が集まり、核兵器のない世界・戦争のない世界を願って鐘を鳴らす事業を恵庭市の事業として展開することを提案します。 3. 活用方法の例として広場でのイベントの開催時に平和の鐘を鳴らしたり、結婚式用の写真撮影も行える場所として提供することもどうでしょうか。 4. 設置費用は恵庭市が負担するのが望ましいが、市民や各種団体・企業などからの寄付を募ってはどうか。※ 概算金額 1千万円程度 5. 設置場所としては小高い丘の上にあるイメージが最適と考えます。 6. 同時に多くの市町村で宣言している「核兵器廃絶・平和都市宣言」を表明することも提案します。全国の 360 自治体、北海道では札幌市を含めて 30 自治体が宣言しています。	
2	1 「さまざまな団体の主体性を尊重しながら、地域課題の解決に向けて、町内会や市民活動団体をはじめとする地域の多様な団体が行う活動の支援」とありますが、活動の支援とは具体的にどのようなものでしょうか？ 2 「子どもたちが自ら遊び、自ら学ぶ多くの体験の後押し」とありますが、施策・事業としてはどのようなイメージでしょうか？	恵庭市では、町内会の活動を支えるため、「自治活動交付金」や「町内会活動活性化補助金」の交付、地域担当職員の配置などによる支援を行っています。また、市民活動団体には、「まちづくりチャレンジ協働事業補助金」などによる支援を通して、地域課題や社会課題の解決に向けた取組を支援しています。今後の具体的な活動の支援内容については、第6期総合計画期間中に5次(計画期間 3 年の計画を 2 年ごとに策定)に渡り策定する「実施計画」の中で検討して参ります。 基本目標5の「協働の取組」に記載のある「子どもたちが自ら遊び、自ら学ぶ多くの体験の後押し」についてのご質問ですが、「協働の取組」は行政が行う取組だけでなく、総合計画の目指す

	3 基本目標5の取り組みの方向性として「地域全体が子どもに寄り添いながら、子どもの育ちを支える地域づくりの推進」とするなら、案全体的に「遊ぶ」ことを軸にする記述が少ない印象でした。子どもの育ちに必要不可欠な「遊ぶこと」に関する地域全体の大人の理解が必要だと考えています。もう少しその観点を入れてほしかったなと残念に思っています。	まちの姿を達成するため、市民にも意識をしていただきたい視点を記載しています。恵庭市としては、子ども達の遊びを広げる自由な空間である「子どもひろば」や多様な学習・体験を通して子どもたちの興味関心の幅を広げる「えにわ子ども塾」の開催をはじめとした事業を実施しています。今後の具体的な内容については「実施計画」の中で検討して参ります。 「遊ぶことが子どもの育ちにとって必要不可欠」であるというご指摘はそのとおりであり、重要な視点と認識しています。基本構想(案)では地域全体で「遊ぶこと」に対する理解が必要であると考え、「協働の取組」の中で「子どもたちが自ら遊び、自ら学ぶ多くの体験の後押し」と記載をしています。 しかしながらご指摘のとおり、目指すまちの姿や取組の方向性の部分に「遊び」への具体的な記載が不足しておりました。いただいたご意見を踏まえ、以下のように「遊ぶこと」に関する記述を追記します。 【目指すまちの姿】 (旧)読書活動や体験活動など、さまざまな学びの機会を通じて「生きる力」を育むまち (修正後)<u>遊び</u>や体験、読書活動など、さまざまな学びの機会を通じて「生きる力」を育むまち 【取り組みの方向性】 (旧)文化芸術活動をはじめとした、さまざまな学びの場や多様な人々が交流する機会を創出し、子どもから大人までが学び育ち合う生涯学習の推進
--	---	---

		(修正後)文化芸術活動をはじめとした、さまざまな学びの場や多様な人々が交流する機会を創出し、 <u>遊びや体験活動などを通じて子どもの豊かな成長を促すとともに、子どもから大人までが学び育ち合う生涯学習の推進</u>
3	新恵庭市史に137ヵ所の埋蔵文化財調査に拠る遺跡が有るとされ、ほぼ10Km 四方に納まります。集約度が高く、その殆んどが旧石器時代の7ヵ所を含め、縄文、続縄文、擦文、アイヌ文化期と重層的な点も特徴です。 言い換えると、2万年以上同じ場所で人々が住み続けて来た全国的に見ても稀に見える地域です。市内の市街地周辺には、小河川の周辺を中心にまだ開発可能な広い土地も広がります。今後の調査に依る新たな発見も期待されます。 カリンバ遺跡、西島松5遺跡は全国的に注目されておりますが、道内最大規模のカリンバコタンもあります。新長期総合計画を策定されるに当りこのあたりも加味され、私達が住む「恵みの庭」に千歳市と北広島地域も少し加えた見方、考え方にて、地域の歴史とその存在価値を見直し高め、新しい時代を迎えるための計画となる事を期待しております。	本市には、旧石器時代からアイヌ文化期に至るまでの重層的な遺跡が多数存在し、全国的に見ても稀有な歴史的価値を有していることは、これまでの発掘調査からも明らかになっております。ご指摘のとおり、カリンバ遺跡や西島松5遺跡をはじめ、市内の遺跡群は高い注目を集めており、地域の歴史と文化を理解するうえで大変重要な資源です。 今回の総合計画基本構想では、直接的に個別遺跡の活用方を定めるものではありませんが、地域の歴史的・文化的な価値を尊重しながら、今後のまちづくりや文化施策を進めてまいりたいと考えております。いただいたご意見についても参考とし、地域の存在価値を次世代に継承できるよう努めてまいります。